

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年8月～2024年7月)

2024年11月27日発行
2024年12月12日改定



高岡造園土木株式会社

〒471-0846 愛知県豊田市田代町8丁目10番地2

TEL: 0565-74-2331

FAX: 0565-74-2332

■目次

- 1、組織の概要
- 2、対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
- 3、環境経営方針
- 4、環境経営目標（2021～2023年度）
- 5、環境経営計画
- 6、実施体制
- 7、
 - ①環境経営目標の実績と評価
 - ②環境経営計画に基づき実施した取組内容（概要）
 - ③環境経営計画の取組結果とその評価
 - ④次年度の環境経営目標及び環境経営計画
（2024～2026年度）
- 8、環境関連法規などの遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟などの有無
- 9、代表者による全体評価と見直し・指示

1. 組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

- 会 社 商 号 高岡造園土木株式会社
- 本 社 〒471-0846 愛知県豊田市田代町8丁目10番地2
- 連 絡 先 TEL 0565-74-2331 FAX 0565-74-2332
Email : info@takaokazouen.com
URL : <https://www.takaokazouen.com>
- 創 業 年 月 日 昭和57年5月11日
- 創 立 年 月 日 昭和60年11月9日
- 資 本 金 2,000 万円
- 代 表 者 代表取締役 板倉 重治
- 従 業 員 数 12 名
- 事 業 内 容 造園・緑化工事
- 建 設 許 可 番 号 愛知県知事許可（特－31）第46152号
造園、土木、とび・土工工事業
- 産 業 廃 棄 物 愛知県 02300065371
収 集 ・ 運 搬 許 可 番 号 ※自らが行う工事において発生する産業廃棄物のみを扱います。
- 事 業 規 模

	売上高（単位：百万円）	従業員数（人）	延床面積（㎡）
2021年度	182	12	216.9
2022年度	178	12	216.9
2023年度	181	12	216.9

※事業年度 2021年度 2021年8月1日～2022年7月31日
2022年度 2022年8月1日～2023年7月31日
2023年度 2023年8月1日～2024年7月31日

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

高岡造園土木株の全組織を対象とします。

■組織：高岡造園土木株の全組織

■活動：前記の事業内容のとおり

■レポートの対象期間：2023年 8月～2024年 7月

■レポートの発行日：2024年11月27日

3. 環境経営方針

□環境理念□

近年、環境悪化から地球はあちこちで悲鳴をあげています。
当社は造園緑化事業を通して、そのような環境を改善できることが
使命であると認識し、会社一丸で取り組み、環境保全活動を自主的
かつ積極的に推進し、環境への負荷を削減します。
また、業務品質を落さず、顧客の満足度を一層高め、社員が生き生き
と働ける職場環境を整備します。

□行動指針□

- 【1】 当社へ適用される環境関連法規制、当社が同意する他の要求事項を遵守します。
- 【2】 下記事項については具体的な環境目標、活動計画を定め実施します。
 - ①事業活動における無駄を省き、CO2排出量の削減に努めます。
 - ②循環型社会形成のために廃棄物リサイクル化に努めます。
 - ③節水を推進し、雨水利用の増加、水使用量の削減に努めます。
 - ④地域に必要とされる企業になるため、社会貢献活動を積極的に行うことに努めます。
 - ⑤化学物質の適正管理に努めます。
 - ⑥業務で使用する資材に再生品を取り入れます。
- 【3】 本方針を全社員に周知すると共に、環境経営システムを構築し、又、継続的に改善します。

2009年10月26日制定
2020年 3月 14日改定
高岡造園土木株式会社
代表取締役 板倉重治

4. 環境経営目標（2021～2023年度）

	項目	単位	基準値	目標数値		
			直近4年ベース	2021年度	2022年度	2023年度
CO ₂ (※)	電気使用量	kWh	9700 (4578kg-CO ₂)	-1%(9600) (4531kg-CO ₂)	-2%(9500) (4484kg-CO ₂)	-3%(9400) (4436kg-CO ₂)
	ガソリン	L	7850 (18212kg-CO ₂)	-1%(7770) (18026kg-CO ₂)	-2%(7690) (17840kg-CO ₂)	-3%(7610) (17655kg-CO ₂)
	軽油	L	5450 (14061kg-CO ₂)	-1%(5390) (13906kg-CO ₂)	-2%(5340) (13777kg-CO ₂)	-3%(5280) (13622kg-CO ₂)
	【総排出量】	kg-CO ₂	36851	36463 (-1%)	36101 (-2%)	35713 (-3%)
廃棄物	一般廃棄物(事務所)の削減	kg	1700	-1% (1680)	-2% (1670)	-3% (1650)
水	水使用量	m ³	134	-1% (133)	-2% (131)	-3% (130)
社会貢献	清掃活動	回/年	2	2	2	2
化学物質	化学物質使用	必要に応じて使用するので、数値目標は設けず、適正管理に努めます。				
再生品	再生品取入	必要に応じて取入するので、数値目標は設けず、適正管理に努めます。				

※購入電力の排出係数は中部電力H29年度の調整後排出係数「0.472kg-CO₂/kWh」を使用します。

※CO₂発生要因として「LPG」があるが、少量の為、目標に入れません。CO₂発生寄与率の高いものから優先的に取り組んでいます。ただし、総排出量には含んでいます。

※一般廃棄物の剪定枝は事業活動量と連動するため、目標値化しません。

※産業廃棄物は受注工事の内容により廃棄物の種類、量が異なるため、実績値を記録し、適正な処理を行う。

2021年度・・・令和 3(2021)年8月1日～令和 4(2022)年7月31日

2022年度・・・令和 4(2022)年8月1日～令和 5(2023)年7月31日

2023年度・・・令和 5(2023)年8月1日～令和 6(2024)年7月31日

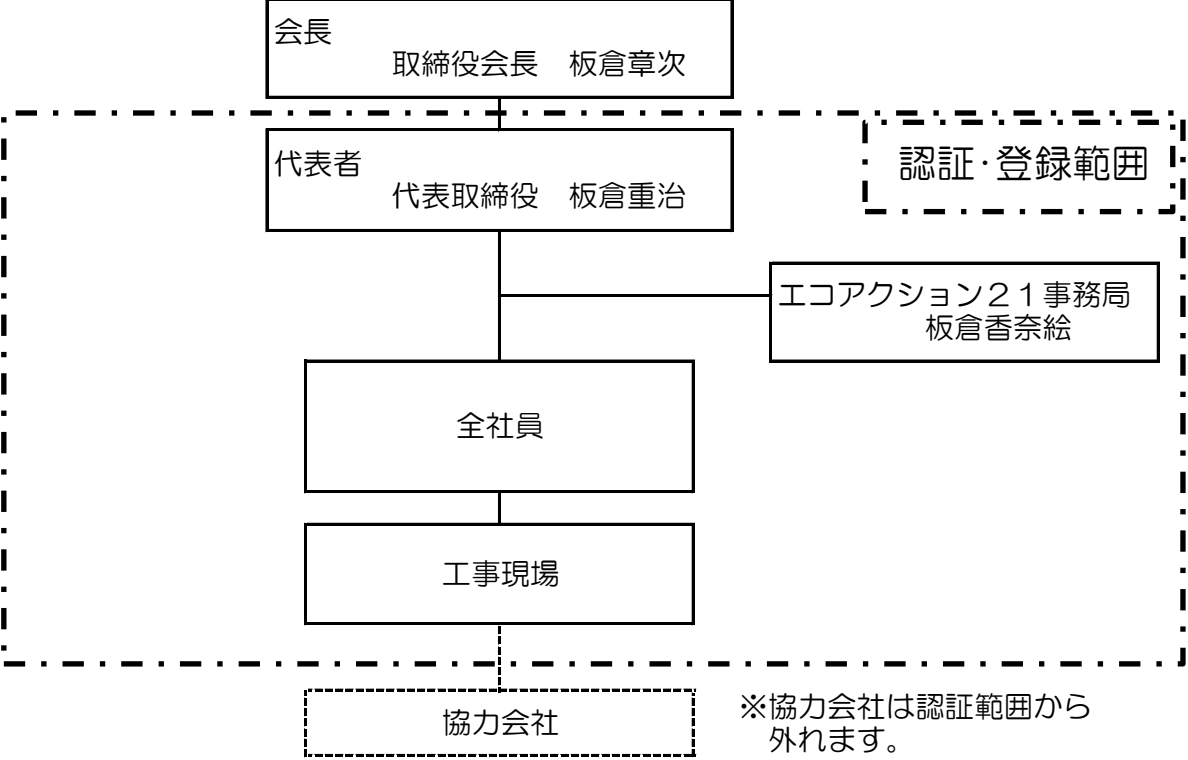
5. 環境経営計画

2023年度（2023年8月～2024年7月）

環境方針	実施事項	責任者	点検方法	実施時期
CO2排出量削減	①冷暖房の設定温度見直し	板倉香奈絵	点検表①	通年
	②冷暖房機フィルター清掃を実施	板倉重治		5,12月
	③未使用場所の消灯徹底	板倉重治	点検表①	通年
	④節電啓発掲示による意識推進	板倉重治		通年
	①エコドライブの徹底	板倉重治	点検表②	通年
	②建設機械でのエコドライブの徹底	板倉重治		通年
一般廃棄物(事務所)の削減	①事務所内廃棄物の分別と削減	板倉重治		通年
水使用量の削減	①水使用量削減（節水）徹底	板倉香奈絵	点検表①	通年
	②節水啓発掲示による意識推進	板倉重治		通年
社会貢献活動	年2回環境美化の日に清掃実施（事務所周辺及び工事現場周辺）	板倉重治	報告書①	6,9月
化学物質	①施錠管理	板倉重治		通年
	②購入量管理	板倉重治		通年
	③SDS管理	板倉重治		通年
再生品使用	①資材購入時、再生品の選択	板倉重治		通年
	②見積時、再生品での提案	板倉重治		通年

6. 実施体制

高岡造園土木(株)の全組織を対象とします。



役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	板倉重治	環境経営方針の策定 環境経営システムに必要な人、設備、費用、 時間、技術者を準備 環境経営レポートの作成、確認 関係法令遵守推進 環境経営目標、経営計画の確認 環境経営システムの構築、運用、維持 環境経営システムを全社員へ周知、徹底 外部からの苦情受付、対応、記録 全体の評価と見直し・指示 経営における課題とチャンスの明確化
事務局	板倉香奈絵	代表者の補佐 環境関連文書の原案作成 環境活動実績集計
全社員		環境経営システムの実施 環境経営方針の理解 環境への取り組みの重要性自覚 関係法令遵守 自主的積極的に環境活動へ参加 問題点の発見、是正、予防処置

7. ①環境経営目標の実績と評価

(運用・・・2023.8～2024.7)

	項目	単位	基準値	目標	実績	達成状況	評価
			直近4年間平均		2023.8～2024.7		
CO2	電気使用量	kWh	9700 (4578kg-CO2)	-3% (9400)	6827 (3222kg-CO2)	-29.6%	○
	ガソリン	L	7850 (18212kg-CO2)	-3% (7610)	5932 (13762kg-CO2)	-22.0%	○
	軽油	L	5450 (14061kg-CO2)	-3% (5280)	7724 (19927kg-CO2)	+46.3%	×
	【総排出量】	kg-CO2	36851	-3% (35713)	36912	+3.3%	×
廃棄物	一般廃棄物(事務所)の削減	kg	1700	-3% (1650)	1952	+18.3%	×
水	水使用量	m ³	134	-3% (130)	112	-13.8%	○
社会貢献	清掃活動	回/年	2	2	2	2	○
化学物質	適正管理		—	施錠管理、購入量管理、SDS管理			○
再生品	再生品使用		—	再生品の選択、提案			○

【評価】○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

※社会貢献活動に関しては、目標を豊田市環境美化の日（春、秋）に合わせ、年2回としている。
※CO2総排出量には「LPG」を含んでいません。

7. ②環境経営計画に基づき実施した取組内容(概要)

環境方針	実施事項	評価
CO ₂ 排出量削減	①冷暖房の設定温度見直し	○
	②冷暖房機フィルター清掃を実施	○
	③未使用場所の消灯徹底	△
	④節電啓発掲示による意識推進	○
	①エコドライブの徹底	△
	②建設機械でのエコドライブの徹底	△
一般廃棄物(事務所)の削減	①事務所内廃棄物の分別と削減	△
水使用量の削減	①水使用量削減(節水)徹底	○
	②節水啓発掲示による意識推進	○
社会貢献活動	年2回環境美化の日に清掃実施(事務所周辺及び工事現場周辺)	○
化学物質	①施錠管理	○
	②購入量管理	○
	③SDS管理	○
再生品使用	①資材購入時、再生品の選択	○
	②見積時、再生品での提案	○

○…実施できた △…一部実施できなかった ×…実施できなかった

7. ③環境経営計画の取組結果とその評価

■取組結果評価 【取組事項評価】○…実施できた △…一部実施できなかった ×…実施できなかった

1、電気使用量削減目標「－3%」 実績「－29.6%」		
【取組事項】	①冷暖房の設定温度見直し	○
	②冷暖房機フィルター清掃を年2回実施	○
	③未使用場所の消灯徹底	△
	④節電啓発掲示による意識推進	○

未使用場所での消灯に関し、徹底はされていないが、目標を下回ることができた。
さらなる意識を向上し、取組みの推進を継続する。



2、ガソリン使用量削減目標「－3%」 実績「－22.0%」		
【取組事項】 ①エコドライブの徹底		○

大幅に目標を下回った。
エコドライブ意識向上の結果が出ていると思われる。
さらなる意識向上と実行を目指したい。

3、軽油使用量削減目標「－3%」 実績「＋46.3%」		
【取組事項】	①車両でのエコドライブの徹底	△
	②建設機械でのエコドライブ徹底	△

大幅に目標値を超えた。
軽油使用車両、重機の使用頻度増加が大きいと予想される。そのような現場が増加したと考えられる。さらなる意識向上と実行を目指したい。

4、一般廃棄物(事務所)の削減目標「－3%」 実績「＋18.3%」		
【取組事項】 事務所内廃棄物の分別と削減		○

適正処理はできているが梱包資材などが増量したと考えられる。

5、水使用量削減目標「－3%」 実績「－13.8%」	
【取組事項】 ①水使用量削減（節水）徹底 ②節水啓発掲示による意識推進	○ ○

夏季散水、消毒作業による使用量が少なかったと考えられる。
意識向上に努めていきたい。



※豊田市から配布された「CO2削減啓発ポスター」の掲示

6、社会貢献活動目標「2回」 実績「2回」	
【取組事項】 ①年2回の清掃活動	○

引き続き、活動を推進する。

7、化学物質適正管理	
【取組事項】 ①施錠管理 ②購入量管理 ③SDS管理	○ ○ ○

各管理事項ともに、きちんと管理できた。

8、再生品使用	
【取組事項】 ①資材購入時、再生品の選択 ②見積時、再生品での提案	○ ○

各管理事項ともに、達成できた。

7. ④次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の目標は新たな3箇年の目標を立てる。
計画は今年度の取り組みを継続する。

7. ④環境経営目標（2024年度～2026年度）

	項目	単位	基準値	目標数値		
			直近2年ベース	2024年度	2025年度	2026年度
CO ₂ (※)	電気使用量	kWh	7,500	基準値 - 1%	前年 2024年度 実績 - 1%	前年 2025年度 実績 - 1%
	ガソリン	L	6,500			
	軽油	L	7,700			
	【総排出量】	kg-CO ₂	38,400			
廃棄物	一般廃棄物(事務所)の削減	kg	1,930			
水	水使用量	m ³	110			
社会貢献	清掃活動	回/年	2	2	2	2
化学物質	化学物質使用	必要に応じて使用するので、数値目標は設けず、適正管理に努めます。				
再生品	再生品取入	必要に応じて取入するので、数値目標は設けず、適正管理に努めます。				

※購入電力の排出係数は中部電力2022年度の調整後排出係数「0.459kg-CO₂/kWh」を使用します。

※CO₂発生要因として「LPG」があるが、少量の為、目標に入れません。CO₂発生寄与率の高いものから優先的に取り組んでいます。ただし、総排出量には含んでいます。

※産業廃棄物は受注工事の内容により廃棄物の種類、量が異なる為、実績値を記録し、適正処理を行う。

年度＝8月1日～翌年7月31日

直近2年間＝2022年～2023年度

8、環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

環境関連法規	内容	遵守確認
廃棄物処理法※	収集運搬許可更新、委託契約書作成、マニフェスト適正管理・交付状況報告（6月）、処分先現地確認（優良認定事業者）	OK
建設リサイクル法	分別処理、再資源化	OK
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出	廃棄無し
騒音・振動規制法	特定建設作業届出、規制値の遵守	OK
浄化槽法	届出、保守点検、清掃、法定検査の実施	OK
アイドリング・ストップ 条例(愛知県)	駐停車時アイドリングストップ	OK
農薬取締法	適正使用、保管管理	OK
フロン排出抑制法	業務用エアコン設置、修理、廃棄時に登録業者に委託 定期的なフロン簡易点検の実施	OK

※当社は自社の工事業務より発生する廃棄物の運搬のみを行っています。

- 1、当社の環境関連法規への違反はありません。
- 2、過去3年間、利害関係者からの訴訟などはありません。

9、代表者による全体評価と見直し・指示

継続することで社員の意識改革が徐々に図られていることを感じる。
ただ、点検表を確認すると、まだ不良箇所が見られる。
さらに意識の向上を推進する必要がある。

代表者による変更必要性の判断・指示		評価者：代表者 板倉重治 記載日：2024年11月27日
評価結果		
1、環境経営システム	・・・有効に機能している	機能していない
2、環境への取組み	・・・適切である	一部適切でない
変更判断・指示		
1、環境経営方針の変更	・・・有	無
2、環境経営目標の変更	・・・有	無
3、環境経営計画の変更	・・・有	無
4、実施体制の変更	・・・有	無
変更の理由（詳細にわたる場合は別紙添付） 環境経営目標は3箇年の期間が終了したので、次年度は新たな3箇年の目標を立てる。		
指示事項		
CO2排出量削減は軽油使用量増加により、目標を達成できなかった。 現場の特性上、削減に限度が生じている。 ただ、そのような状況下においても、さらなる意識向上を継続して訴えていく。 一人ひとりの行動が会社経営に関わり、地球環境の改善につながることを訴える。		